

平成 31 年 2 月 22 日
札幌管区気象台
室蘭地方気象台

平成 31 年 2 月 21 日 21 時 22 分に発生した 胆振地方中東部の地震における現地調査について

平成 31 年 2 月 21 日 21 時 22 分に発生した胆振地方中東部の地震について、札幌管区気象台および室蘭地方気象台は、2 月 22 日に「気象庁機動調査班 (JMA-MOT)」を派遣し、震度 5 強以上を観測した震度観測点の観測環境が地震によって変化していないことや、観測した震度と震度観測点周辺の実際の被害状況の関連を点検するため現地調査を実施しました。

調査結果は以下のとおりで、調査実施地域及び地震動による被害状況は別紙のとおりです。

◎震度観測点の観測環境の点検結果

震度 6 弱を観測した「厚真町鹿沼」、震度 5 強を観測した「安平町追分柏が丘*」及び「むかわ町松風*」の観測環境の点検を行った結果、震度計台や周囲の地盤等に異常は認められませんでした。

(*は国立研究開発法人防災科学技術研究所設置の震度観測点)

◎地震動による主な被害状況

震度観測点から概ね 200m 以内の範囲で調査を実施しました。主な被害状況は以下のとおりです。

震度観測点 (観測した震度)	主 な 被 害 状 況	写真番号 (別紙)
厚真町鹿沼 (震度 6 弱)	・固定していない書棚が倒れた	
安平町 追分柏が丘* (震度 5 強)	・木製壁のひび割れ	写真 1
むかわ町 松風* (震度 5 強)	・コンクリート壁の亀裂	写真 2

*は国立研究開発法人防災科学技術研究所設置の震度観測点

問合せ先：札幌管区気象台 気象防災部地震火山課 担当 高橋
電話 011-611-6125 FAX 011-611-6130

調査実施地域

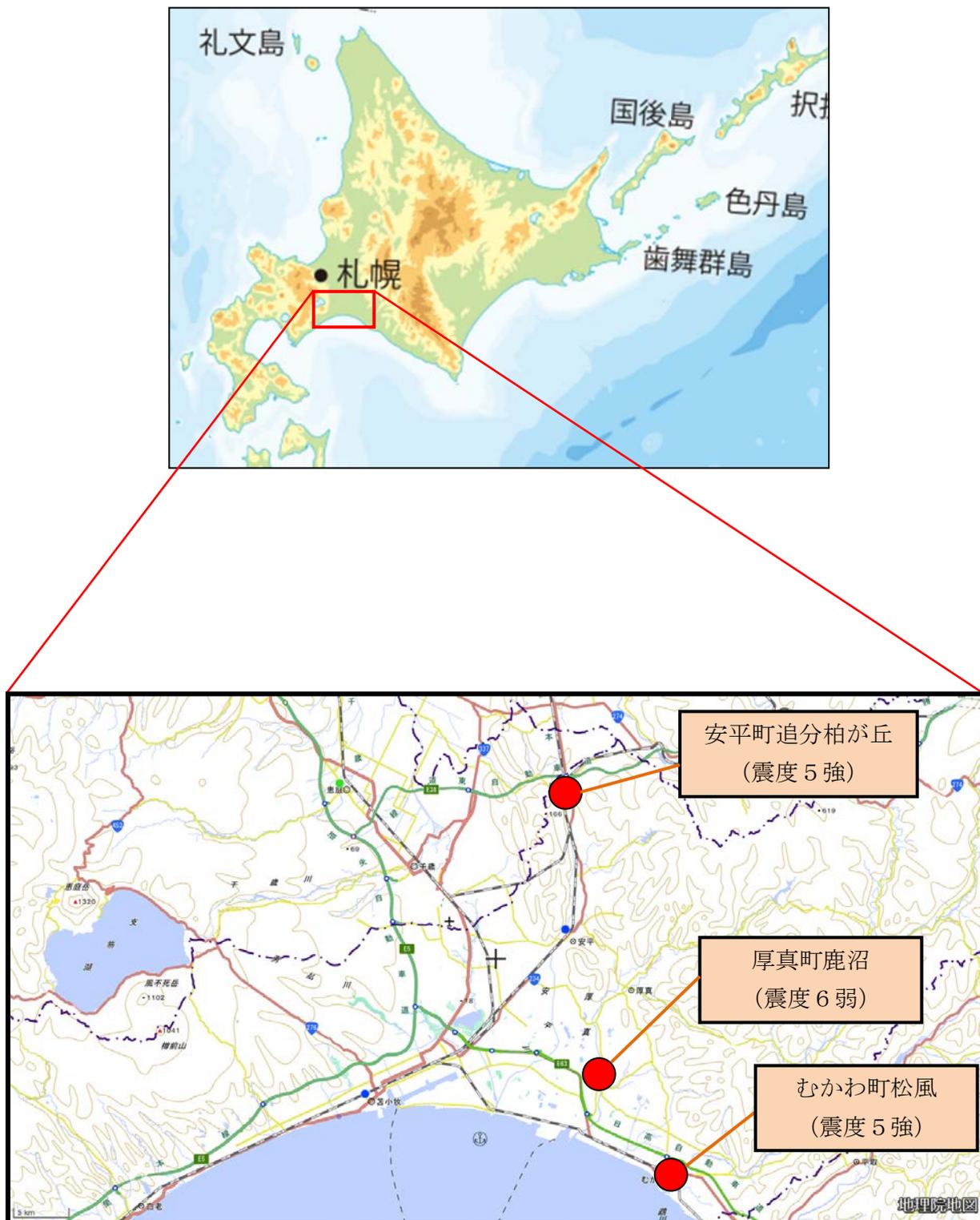


図1 調査実施地域（調査を実施した震度観測点）

【国土地理院の地図を使用】

地震動による被害状況



写真1 木製壁のひび割れ



写真2 コンクリート壁の亀裂